

## 「あ」から始まる

今日は雨です。「あ」から始まる言葉が浮かびました。「ありがとう」「朝」「明日」「明るい」「会う」「遊ぶ」「秋」「淡い」「味わい」「赤ちゃん」……。雨で憂うつな気分の朝でしたが、言葉を出しているうちに、気持ちが晴れてきました。

亡くなった友人からもらった文字は「愛」でした。闘病中のリハビリにちょうどいいと、手芸やお習字をして指先を動かしていました。リフォーム工事が終わり私の仕事場が出来上がったときは、赤いバラの花を飾り付けたティッシュボックスを届けてくれました。愛も赤も「あ」から始まる言葉だと気づきました。

針金でつくられた小さな人形を「針金人」と名付けましょう。針金人とモノの写真でつくられた本です。針金人が「あ」と言ってたずんでいます。自分の背丈以上の大きな「コップ」に向かって歩いていきます。ポットを見上げたり、マヨネーズの横で逆立ちしたり、針金人の動きです。重量挙げのように綿棒を持ち上げて「は」。耳かきのふわふわの上に頭を載せて横たわり「はあ」。モノとの関係性で表現されている小さな小さな針金人の動作と短い言葉。言葉？ひらがな一文字だったり、カタカナ一文字だったり。かわいくて面白い本です。『あ』（大槻あかね作、福音館書店発行）

この本の続きが作れそうです。大人を対象とする研修の「創造性を広げるワーク」に取り入れてみたいですね。

何かモノと針金人を組み合わせて物語をつくりたいです。そのモノについて、針金人が何を感じているのか、針金を曲げて動作を作り表現します。

私がいま叩いているPCのキーボード。針金人に自由にキーの上をお散歩してもらいましょう。「た、た、た、た、た…、トン」と言葉を載せましょう。

小さなお子さんと一緒に、お話を作りながら読んでいくのもよさそうです。針金人と同じポーズをとってみるのも、子どもが喜びそうです。針金人人形がつかれるのなら、本の真似をしてモノとポーズする針金人の写真を撮るのも楽しそうです。本のタイトルは何にしましょうか。

「あいうえお」の「あ」。「あ」から始まる言葉を浮かべていたら『あ』の本をもっていたことを思い出しました。久しぶりに開いてみると、研修のワークが作れそうな気になってきました。この偶然にありがとう。